

12月8日 成道会

約2600年前、ある国の王子として生まれたお釈迦さまは、思い通りにはいかない人生に悩みながら、毎日を過ごしていました。それを克服するため、人里を離れ、身体を苦しめるような厳しい修行を重ねましたが、どれだけ苦しめても、

悩みはちっともなくなりません。

厳しい修行では安らぎは訪れないと感じ、

里に下り、川で体を清めていると、

その姿を見た近くの村娘のスジャータが、

お釈迦さまに乳がゆを施しました。

ゆっくり体力を回復したお釈迦さまは、

木の下で瞑想に入り、悩みの原因について考えました。

その間、悪魔が現れて瞑想をやめるよう誘惑しますが、

負けることなく続けました。



12月8日、ついにお釈迦さまは、
長い瞑想を経て、悩みの原因は
ものごとに対する執着であると突きとめ、
「さとり」を得ました。

「さとり」をもとにお釈迦さまが
広めた教えは、多くの人々を救い、
現代まで伝わっています。

「成道会」は、お釈迦さまが
さとられたことを記念して行われています。
お釈迦さまの苦難を思いつつ、
感謝のお念仏をおとなえしましょう。





ぬりえ

12がつ8かは

おしゃかさま おさとりのひ

② それからのおしゃかさまは
こまっているひと よわいひと
いろんなひとに
やさしくこえをかけながら
ただしくまいにちをすごすこと
いきるよろこびをつたえて
ながいあいだ
たくさん あるきました

① ずっとずっとむかしの 12がつ8か
ほしがかがやく よるとあさのあいだ
おしゃかさまは おさとりをひらかれ
ブツダとなりました

③ やがて おしゃかさまのおしえは せかいじゅうにひろがりました
わたしたちも おしゃかさまのおしえをまんで
あかるく ただしく なかよくすごしましょう